

ナレック ニュースレター

NAREC

newsletter

No.90

2026 winter

青い地球と生きる一步を学ぶ
学生交流レンジャーズ
石部の棚田 収穫祭



青い地球と生きる一步を学ぶ 4日間 開催報告

山、川、海のつながりから始まる環境再生への道

2025年10月31日（金）～11月3日（月）にかけて、世界自然遺産の島、屋久島で環境再生を学ぶスタディツアーが開催されました。屋久島在住の環境再生医を案内人に迎え、全国から“環境再生”に関心を持つ老若男女が集まり、“青い地球と生きる一步”を探求する4日間を過ごしました。

今回は、屋久島北部に位置する一湊川^{いっそうがわ}に焦点を当て、森の環境保全・川の生物多様性調査・海の生き物観察・里に残る地域の営みから、本来あるべき人と自然のつながりについて、体験を通して学んでいきました。

Day 1 五感を研ぎ澄まし、屋久島に出会う

苔むす森として有名な白谷雲水郷へ。初めて屋久島に訪れる参加者が多い中、まずは屋久島の自然をゆっくり感じる森林浴を体験しました。単に目で見ただけではなく、音や香り、触感、足の裏の感覚など、さまざまな感覚を使って森と触れ合うことで、日頃閉ざされていた五感を解放して、自然を観る心が開かれていきます。

Day 2 希少種の眠る 息づく照葉樹林の保全活動

午前中は、屋久島照葉樹林ネットワークのみな皆さんを講師に迎え、森の保全活動をお手伝いしました。屋久島照葉樹林ネットワークは、希少植物の生息する森林保全・調査を地域に根ざして行っています。作業の前には照葉樹林の現状や活動の歴史を伺い、自分たちがなんのために保全活動をするのか学びました。実際の作業ではみんなで力をあわせて石を運び、川の氾濫で希少種の生息域が破壊されないように石垣を築きました。出会ったばかりの参加者も、共同作業ですっかり一体感が生まれ、2歳から70歳まで多様な世代で森を守る時間となりました。

午後は地域の産業である“鯖節工場”に見学に行きました。屋久島には昔は“山師”という職業があり、照葉樹林の手入れをしながら得られる薪を使って、鯖節を作っていたことがわかりました。地域の営みが環境保全の原点であることを身をもって知り、現代社会でどのようにしたら「営み」と「保全」の両立ができるのか深く問いかけるきっかけとなりました。

Day 3 島の子供たちと一緒に川の生物多様性を調べる

一湊川流域に暮らす子供たちと川の生物調査を行いました。全員胴長を着用し、手にタモを持ち、一気に冒険の気配が。子供たちと協力し、川に生息するエビや魚を取り、どんな生き物が暮らしているのか観察します。子供たちとの交流から、季節によって生き物が変わることや日頃どんなふうに自然の中で遊んでいるのかを知り、都会から来た参加者は驚きと発見に満ちた貴重な体験となりました。

Day 4 海に感謝して、旅立つ

4日間滞在した地域の海でビーチクリーンをして、最後に振り返りをしました。「私たちは、どうしても人と自然と分けて捉えがちです。しかし、鯖節工場の見学や、漁師さん、山師さんのお話、そして子どもたちが遊んでいる姿に触れ、人も自然の循環の中で生活しているんだなあと感じました。」「通常の観光ではまず体験できないことができて大満足でした。屋久島の魅力は縄文杉がある山だけではないことを再認識しました。」「今回の経験を通して、改めて環境保護を仕事にしたいと思いました。」といった声が聞かれ、それぞれの青い地球と生きる一步が言葉になった時間でした。（ふるさと未来担当 石黒）



▲雨を全身で感じる森林浴
(撮影：田中俊三)



▲力を併せて石垣を作るための石を運ぶ
(撮影：田中俊三)



▲一湊川の生物調査（撮影：真木弘智）



▲ビーチクリーン（撮影：真木弘智）

企画運営 認定 NPO 法人 自然環境復元協会
企画協力 HUB&LABO Yakushima、
屋久島エコビレッジ aperuy、
屋久杉楼 七福
旅行手配 屋久島ツアーオペレーションズ

活動レポート

学生交流レンジャーズ 自然と共生し、環境を考える体験型イベント in 東京 荒川砂村

対象者を学生限定とした「学生交流レンジャーズ」を実施しました。

午前中は、現地団体の方から日頃の活動内容や目的についてお話しいただき、実際に観察できる生物や植物を見ながら、それぞれの生態について学びました。その後、レンジャーズ活動として草刈り鎌を用いてオギの刈り取りを行いました。

午後は東大島文化センターに移動し、環境再生ワークと標本作製を行いました。ワークでは「環境再生に自分はどうに関わることができるのか」をテーマに意見交換をしました。また、午前中に採集した昆虫を使い、標本作製に取り組みました。

以下、企画・運営をしたインターン生の感想です。

企画段階では色々悩むことがあり、「大丈夫だろうか」と思う場面が多かったのだが、本番では杞憂で済み、そこに安堵した。まず今起きている問題について知る。その後、それをしっかりと学び、保全活動に参加したりなど自分ができることから取り組んでいくことが大事である。（飯田陽斗）

サブリーダーとして標本作製会を企画・実行し、初心者にも分かりやすく指導できたと好評を得た。活動を通じ、リーダーの基本動作や参加者への配慮を学び、命の尊さを伝える教育的な意義を再認識した。（鈴木栖磨）

オギは、硬く、刈るのに体力を要する作業だったが、積み上げられた大量のオギを見たときは、大きな達成感を得ることができた。また、午後のワークや標本作製では活発な議論が行われたり互いに教え合ったりなど、コミュニケーションを取りながら自然環境について考えられた時間になったと思う。（白坂真理愛）

■ 日 時：11月23日（日）9:00～15:40
■ 場 所：荒川・砂町水辺公園、東大島文化センター
■ 作業内容：オギ刈り、ガサガサ・生きもの観察、環境再生ワーク、昆虫標本作製
■ 参加人数：6名
■ 現地団体：NPO 法人ネイチャーリーダー江東

環境問題について考えたり意見を交換したりすることは、持続可能な社会を構築していく上で非常に重要です。自然環境の保全活動に興味のある方も、少し気になっている方も、ぜひレンジャーズ活動へのご参加お待ちしております。（インターン生 白坂）

石部の棚田 収穫祭に参加しました。

10月4日（土）、当協会がオーナー登録する石部の棚田で稲刈りが行われました。当日は小雨が降ったり止んだりの天気でしたが、集合場所の旧三浦小学校グラウンドに着く頃には、雨も小康状態になり一安心でした。受付を済ませ、担当の棚田へ。急斜面の道を登っていくと、目の前には美しい棚田が広がっていました。水田にたどり着く頃には、少し息が上がってしまいましたが、参加者の皆さんの表情は期待と自信に満ち溢れていました！参加者の皆さんは経験者揃いということもあり、稲刈りは驚くほどスムーズに進みました。特に難しかったのは結束作業。最初は戸惑う方もいましたが、経験者の方の的確なアドバイスのおかげで、無事に終えることができました。皆さんの手際の良さには本当に感心しました！作業が少し早く終わったので、急遽「荒縄作り体験」がスタート！参加者の方が講師となり、皆さん真剣な表情で取り組んでいました。最後は全員が見事な荒縄を完成させ、達成感に満ちた笑顔が印象的でした。来年の田植えや稲刈りでの再会を誓い、名残惜しくも解散となりました。（自然環境保全委員会 委員長 水野 宗衛）

■ 日 時：10月4日（土）13:00～15:00
■ 場 所：静岡県賀茂郡松崎町
■ 作業内容：稲刈り
■ 参加人数：7名
■ 現地団体：石部の棚田オーナー制度事務局 松崎町企画観光課



▲オギ刈り



▲フィールドで採取した昆虫の標本づくり

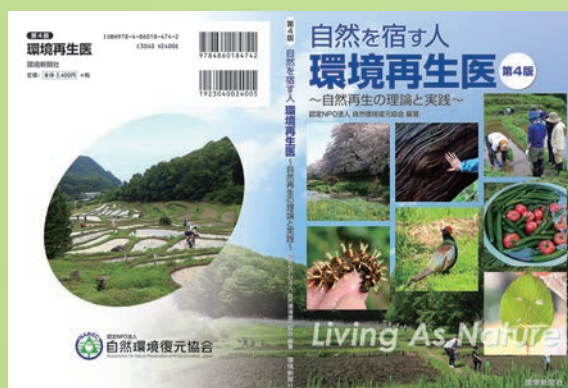


▲刈った稲をどんどん運ぶ。



▲稲束は稲架掛けにつるす。おいしくな～れ。

環境再生医 第4版が出版されます



自然環境復元協会の本が、新装、改版されます！

「環境再生医」は、認定 NPO 法人「自然環境復元協会」が制定した資格制度です。現在、世界で約 6,000 人の資格取得者が活躍中です。

初版から 3 回目の改版により、環境再生に関する法制度や仕組み、考え方、そして何よりも人と人、人と自然をつなぐ知識、技術、手段、事例の最新情報をこれでもか！と詰め込みました。資格取得のテキストとしてもご利用いただけます。

「あすのはね寄付贈呈式」に参加しました



地域社会への貢献を目的に、信託報酬の一部を社会的課題の解決に取り組む団体に寄付する朝日ライフ アセットマネジメント株式会社「ALAMCO SRI 社会貢献ファンド（愛称：あすのはね）」の第 25 期寄付先に採択をいただきました。ご寄付は、身近な自然を支えるレンジャーズプロジェクトを通じ、今後もボランティア希望者が環境活動を始めるときかけの創出、拡大やリーダーの育成、環境保全団体の課題解決を目指した活動に活かしてまいります。

ご支援のお願い

当協会の活動は会員の皆様や取り組みにご賛同くださった寄付者の皆様によって支えられています。いただいたご寄付は全国的に担い手不足となっている環境人材を応援し、都市部、農山漁村部の自然を未来に残します。



ご寄付について

以下口座やゆうちょ銀行、クレジットカードで受け付けています。

三菱UFJ銀行 神田支店
普通 5567029
口座名義 特定非営利活動法人
自然環境復元協会

▶ https://bit.ly/narec_donate



Tポイント（期間限定ポイントも可）を使った寄付が可能です。

※詳細については下記ホームページをご覧ください。

▶ https://bit.ly/narec_yahoo01



家に眠る「お宝」でNPOに寄付できるプログラム
お宝エイド®

家にある不要なものを送ることで NAREC の活動を応援できます！
着払いで配送可能。無料で、気軽に、簡単に始められます。

※詳細や領収書については
下記ホームページをご覧ください。

▶ https://bit.ly/narec_buppin

